

東北 お遍路紀行

第5回
アクアマリンふくしま
(福島県いわき市)

再オープンが小名浜復興への第一歩 自然とふれあう楽しさを子どもたちへ

福島県の海は、暖かい黒潮と冷たい親潮が交わる「潮目の海」とも呼ばれ、さまざまな魚がとれる好漁場として知られている。そんな潮目の海の、いわき市小名浜港に建つ水族館がアクアマリンふくしま。東北でも随一の規模を誇り、シーラカンスの研究やユーラシアアカワウソンの繁殖でも有名だ。強化ガラスのドーム型の屋根が特徴的な外観は、航海の安全を守る守護石であるアクアマリンをイメージしており、小名浜港に出入りする船の安全を守るシンボルとしての意味が込められている。

東日本大震災の巨大津波は、子どもたちに人気の水族館をも襲った。水を循環させる動力源が損傷、燃料不足や停電などもあり、約750種20万点の展示生物のうち約9割が死滅・流出するなど大きな被害を受けた。しかし、トドなどの哺乳類や鳥類などは全国各地の水族館が保護を引き受けて支援し、復活の待たわびた。そしてついに、被災から126日後の2011年7月15日に営業再開を果たす。

「ファンの皆さんの応援に勇気づけられました。復活できたのは、日本動物園水族館協会や全国の水族館、漁師さんの支援のおかげです。ここでは、子どもたちが自然と楽しくふれあってほしいですね。自然と人間との共生についても伝えていきたいと思えます」。こう語るのは、アクアマリン企画経営グループの金成美枝さん。スタッフの笑顔と温かな接客ぶりも評判だ。水槽前の寿司処や新たな展示スペース、イベントなども魅力にあふれている。



巡礼地と千年物語を 募集中!

巡礼地とその場所にまつわる千年先まで語り継ぎたい物語を募集しています。

一般社団法人東北お遍路プロジェクト
<http://cocomichi.jp/>

- 1 小名浜の海に面して建つアクアマリンふくしまは、宝石のように輝く外観が自邸、水成層の裏側を見学できるバックヤードツアー、釣くなどを体験できる体験型施設「アクアマリンまっく」などがあり、幅広い世代が楽しめる。
- 2 縄文人が活用した船物やユーラシアアカワウソウ等を展示している施設「わくわく崖山・縄文の里」を新たにオープン。
- 3 東日本大震災の津波で水族館の外構の地盤が20〜100センチほど低下、建物の天井のガラスも損傷、一部落下した。
- 4 「おまつりチーム」のリーダーとして、楽しいイベント企画を盛り上げる金成美枝さん。